

かかやき通信



特集

第9回ふれあいまつり
湖東・湖北地域初！最新のCTを導入
新任医師・看護師の紹介
地域包括ケア病棟について

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1ブロック1階	内科	1診(総合診)	森村 光貴	一岡 慶紀	堤 美紗子	一回 慶紀(第1) 日村 好宏(第2-4) 堤 美紗子(第3) 宮 澤 豪(第5)	森村 光貴			
	消化器内科	2診	來住 優輝	仲原 民夫	平山 尚史	大井 雅之	森田 幸弘			
		3診(予約制)	竹治 智		《腎臓内科》半田 貴也(予約制)	竹治 智	《膠原病》中村 拓路(予約制)			
	血液内科	4診(予約制) 午後:再診	森田 幸弘	平山 尚史	大井 雅之	仲原 民夫	來住 優輝			
		5診(予約制) 午後:再診	吉川 浩平	吉川 浩平	白井 亜沙子	吉川 浩平	淺井 愛			
		6診(予約制) 午後:再診	矢野 秀樹	黒江 彰 《膠原病》 山下 貴史(第1-5) 藤澤 方洋(第2-3) 田原裕美子(第4)	矢野 秀樹	黒江 彰	藤澤 方洋			
糖尿病 代謝内科	7診 再診(予約制)	新川 雄高 《膠原病》 新川 雄高 (予約制)	山下 貴史(第1-5) 藤澤 方洋(第2-3) 田原裕美子(第4)	黒江 彰	村井 啓了	許 櫻華				
循環器内科	1診(午後予約制)	綿貫 正人	下司 徹	中野 顯	日村好宏(第1-3-5) 中野 顯(第2-4)	日村 好宏	相本 晃			
	2診(予約制)	日村 好宏	日村 好宏	中野 顯(第1-3-5) 辻後比古(第2-4)	池田 智之	池田 智之	綿貫 正人			
	3診(予約制)	宮澤 豪	宮澤 豪	宮澤 豪	下司 徹	下司 徹	内科8診《甲状腺》 乾 武広(第2-4)(予約制)			
		PM外来(第1-3) (予約制)			下肢外来(予約制)		不整脈外来(予約制)			
2ブロック1階	脳神経外科	1診(予約制)	金子隆昭(予約のみ) 井坂 文章	中久木卓也	井坂 文章	村田 大樹	金子隆昭(予約のみ)	中久木卓也		
	2診	中久木卓也	西田 誠	西田 誠	村田 大樹	西田 誠	井坂 文章			
	神経内科	1診(午後:再診予約制)	島 淳/井上 穰	月田 和人/島 淳	井上 穰/佐藤 和明	和田 一孝/田口 智之	岡田 直/伏屋 康寛			
	2診(午後:予約制)	上古 眞理	上古 眞理	上古 眞理	睡眠外来(予約制)	上古 眞理	上古 眞理			
整形外科	1診 初診	堀 裕彦	光石 直史	角田 恒	角田 恒	小川 貴大	西村 康平			
	2診 再診(予約制)	堀 裕彦	光石 直史	角田 恒	角田 恒	堀 裕彦	光石 直史			
	3診 再診(予約制)	小川 貴大	角田 恒	西村 康平	堀 裕彦	堀 裕彦	光石 直史			
	4診 関節外来(予約制)		秋山 治彦(第1-3)			《膝関節》角田 恒				
3ブロック2階	形成外科	1診	加古 絢子	堀内 あい	伊藤 文人	岡本 菜希	岡本 菜希			
	2診	伊藤 文人	岡本 菜希	加古 絢子	加古 絢子	伊藤 文人	伊藤 文人			
	再診(予約制)		伊藤 文人 加古 絢子 岡本 菜希		《褥瘡外来》 伊藤 文人/加古 絢子 岡本 菜希	堀内 あい				
	皮膚科	1診 初診(午後:再診予約制)	米田 健祐	福永 真未(第1-3-5) 高橋 聡文(第2-4)	福永 真未	中西 健史(第1-3) 米田 健祐(第2-4-5) 藤本 徳義(第4)	福永 真未	米田 健祐	福永 真未	
	2診 再診(予約制)	福永 真未	米田 健祐	米田 健祐	福永 真未	福永 真未	米田 健祐			
	3診 専門外来(予約制)	福永 真未	《化学療法》(9:00~10:00) 《化学療法》(9:00~10:00) 福永 真未	福永 真未	福永 真未	《化学療法》(9:00~10:00)				
呼吸器内科	1診	岡本菜摘(第1-3-5)	奥野 雄大	奥野 雄大	奥野 雄大	岡本 菜摘	岡本 菜摘			
呼吸器外科	1診	月野 光博	渡邊 勇夫	渡邊 勇夫	渡邊 勇夫	月野 光博	渡邊 勇夫			
心療内科	1診	林 栄一(第2-4)	林 栄一	林 栄一	林 栄一	林 栄一	林 栄一			
緩和ケア科	予約制		囑託医							
4ブロック2階	消化器外科	1診(初診)	川部 篤	龍見謙太郎	神頭 聡	佐々木直也	安田 誠一			
	2診(再診)	龍見謙太郎	安田 誠一	佐々木直也	川部 篤	赤松 信				
	3診(再診)	岡村 見	神頭 聡	寺村 康史	岡村 見	寺村 康史				
	乳腺外科	乳腺外来(予約制)	赤松 信	岡村 見	寺村 康史	岡村 見	寺村 康史			
泌尿器科	1診	城 文泰	佐野 太一	長谷 行洋	佐野 太一	長谷 行洋				
2診	長谷 行洋	成田 充弘	多和田真勝	城 文泰	佐野 太一	佐野 太一				
5ブロック2階	眼科	1診(午後予約制)	糸井 素啓 (第1-3)	新開陽一郎(第1-3) 石田 学(第2-4)	新開陽一郎(第1-2-4) 石田 学(第3-5)	日村千穂子 日村千穂子(予約制)				
	2診	北澤 耕司								
	1診(紹介外来)	山田 剛也	横田 裕一	齋藤 忠仁	山田 剛也	前田 康弘	前田 康弘			
	2診 周術期口腔機能管理(予約優先)	齋藤 忠仁	《外来手術》(予約制) ○	《外来手術》(予約制) ○	齋藤 忠仁 前田 康弘	《外科手術》(予約制) ○	山田 剛也 齋藤 忠仁 横田 裕一	《外科手術》(予約制) ○	前田 康弘 齋藤 忠仁 齋藤 忠仁	
	3診(予約制)	横田裕一(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	山田剛也(予約のみ)	
	専門外来(予約制)		《顎関節・口腔機能外来》 村上賢一郎(第4) (周術期口腔機能管理)		《周術期口腔機能管理》	《顎変形症外来》 山田/横田/齋藤 (周術期口腔機能管理)	《デンタルインプラント・顎関節処置外来》 山田/横田/齋藤 (周術期口腔機能管理)			
耳鼻いんこう科	1診	片岡 健一	片岡 健一	片岡 健一	片岡 健一	片岡 健一	片岡 健一	片岡 健一		
6ブロック2階	小児科	1診(午後:予約制)	安部 大輔 《アレルギー外来》 石上 毅	西島 節子 粟屋 智哉(第2-4)	神田 健志 澤井俊宏(第1-3-5) 《アレルギー外来》 石上 毅	西澤 侑香	石上 毅	西島 節子		
	2診(午後:予約制)	神田 健志	安部 大輔	西澤 侑香	神田 健志	安部 大輔	西島 節子	西島 節子		
	3診									
	健診センター									
産婦人科	1診 妊婦健診	高原 得栄	塚本 克美	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄		
2診 初診・婦人科	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄	高原 得栄		
3診 妊娠初期・婦人科										
1階	放射線科	画像診断外来	畑 博之	畑 博之	河上 聡・畑 博之	畑 博之	畑 博之	畑 博之		
地下	放射線治療					吉村 通央				

※診察受付時間は、初診・再診 午前8時から午前11時まで(予約の方は除く) ※整形外科・神経内科・心療内科・皮膚科の診療は、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。
※眼科・歯科口腔外科の診療は、予約、紹介状をお持ちの患者さんを優先しています。かかりつけ診療所(医院)を受診してください。 ※「○」印は同科医師で交替。

院内季節の花だより

<p>花の名前: コキア(ほうき草) 原産国: 南ヨーロッパ 花言葉: 夫婦円満 咲き場所: リバーサイドガーデン フラワーボット 開花時期: 7月下旬~10月上旬</p>	<p>花の名前: ガウラ(山桃草) 原産国: 北アメリカ 花言葉: 清楚 咲き場所: フラワーボット 開花時期: 5~10月</p>	<p>花の名前: 皇帝ダリア 原産国: メキシコ、中米 花言葉: 乙女の真心 咲き場所: こまればのガーデン 開花時期: 11月下旬~12月上旬</p>	<p>花の名前: ホトリリップス 原産国: メキシコ 花言葉: 燃ゆる思い 咲き場所: リハビリテーション棟 周囲ハーブガーデン 開花時期: 5~11月</p>
--	--	--	--



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882
TEL:0749-22-6050 FAX:0749-26-0754
http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/

外来受付時間:

午前8時から午前11時(予約診は午後4時まで)
休診日:土曜日、日曜日、祝日および年末年始

Contents

・あいさつ 石上副院長	3
・院内探検隊	
8 B 病棟	4
6 B 病棟	5
・知って得する病気の話	
神経内科	6
血液内科	8
・湖東・湖北地域初！最新のCTを導入	10
・看護部だより「スマイル」	12
・臨床研修医 桂木先生	13
・彦根市立病院×わたし 薬剤部特集	14
・院内楽楽通信 第9回ふれあいまつり	16
・入退院支援室について	18
・新任医師を紹介します	20
・新任看護師を紹介します	22
・通院治療センターについて	24
・地域包括ケア病棟について	25
・ようこそ！栄養科へ	26
・これであなたも10歳若返る	27
・選定療養費のご案内	28
・緩和ケアかわら版	29
・ボランティアを募集します	30
・意見箱	31
・寄附金をいただきました	31



彦根市立病院
副院長 小児科医師
石上 毅

住みなれた地域で健康をささえ 安心とぬくもりのある病院

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして
高度な医療を提供する。
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する。
- 3 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する。
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、保健・福祉分野を
含めて連携・協力する。
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす。

表紙

「彦根古城太鼓」



今年の第9回彦根市立病院ふれあいまつりのオープニングセレモニーをお願いしました。響き渡る迫力のある演奏を披露いただきました。皆さん、ありがとうございました。

彦根市立病院での「時間の流れ」

小さい子どもをお持ちの保護者の方から最も頻繁に寄せられる言葉が、「早く！」であるという話をどこかで聞いた記憶があります。私も子育てをふりかえってみて、そうだったと思えました。ある日公園に遊びにつれて行きました。あたりが暗くなり、他のご家族がいなくなっても帰ろうとしません。「早く帰ろう」と何度うながしてもブランコから降りません。なんとか車に乗せたとたんに熟睡。子どもの時間と大人の時間は根本的に異なっていると感じく感じました。

文筆家の池田晶子氏は、「生命そのものとして現在に輝いている子どもにとつて、じつは時間というものには存在しておらず、時間が流れていない。現在しか存在していない」と解説しています（暮らしの哲学 毎日新聞社）。幼児期の記憶が残らないのも当然ですね。子どもたちは成長とともに、過去から未来に流れるという大人の普通の時間感覚を習得し、やがて社会にでてゆきます。コンピュータの普及で生活にゆとりが生まれるかと期待をしたものですが、現代社会はスピードが何よりも重視される実にあわただしいところになっていますね。

と、医療安全上のリスクも伴います。そのため多少時間はかかって、安全のためのさまざまな確認行為を行っています。院内の各部署で何度もお名前を確認をさせていただいてありますが、これも医療安全のための方策のひとつなのです。

他方あえてゆっくり時間をとつて取り組むべき課題もあります。その一例が、人生の最終段階における医療・ケアの在り方の問題です。ご本人からこれまでの人生観や価値観をお聴きするとともに、ご家族の思いにも配慮して、苦痛を緩和し、尊厳をそこなわないような医療・ケアのあり方を医療・ケアチームとしてじっくり時間をかけて考えてゆくことを厚生労働省も重視しています。当院でもこのような取組を地域の医療や介護に携わる関係機関とも連携して、今後さらにすすめる方針です。

私は小児科医師として日々子どもさんとかかわらせていただいております。いろいろなか病気をもちになりながらも今輝いている姿をいつもみております。子どもたちのように、過去や未来に対する懸念を振り払って、この瞬間に集中して、今を輝かせることは大変すばらしいことだと考えています。そしてそのことが、急を要する業務を安全に確実に遂行することにつながり、また患者さんと真摯に向き合いながら、人生の最終段階をじっくり考えることも可能にするのだと考えています。全職員がいつもその瞬間に輝いている病院であるように努力したいと思えます。

◎院内探検隊◎

— 8B病棟 —



8B病棟科長
秋宗美紀

「がんであっても幸せに生きたい」「穏やかな最期を迎えたい」という、がん患者さんとご家族の願いを叶える場所が8B病棟です。緩和ケアを専門とする病棟で、がんによつて生じる体のつらさを和らげるのはもちろん、不安や悲しみといった気持ちのつらさに寄り添い、全力で支えることが私たち緩和ケアスタッフの役目となります。では、私たち自慢の病棟をさまざまな角度からご紹介したいと思います。



アロママッサージの様子

な感覚を持つていただけの作りになっていません。お酒をたしなむこともでき、ペットの面会も可能です（お利口に躡けられたベットに限りです）。サニタリーでは季節ごとのレクリエーションを開催し、栄養科特製の素敵なデザートと一緒に提供しますが、そのときの患者さんとご家族のイキイキとした表情を見るたび、「いのちを支える」大切さと重責を実感します。



病棟のサンルーム



看護学生によるティーサービスの様子

がんと共に生き、どれだけか先に旅立ちの時を迎えるであろう患者さんを、医師、看護師だけでなく、管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・理学療法士など、多彩な職種がしっかりと連携し、入院生活がより豊かになるよう、協力体制を組んでいます。ここにボランティアという、更なる助っ人が加わって、患者さんとご家族を中心に据えたチーム医療を提供していることが、当病棟の大きな強みです。ボランティアさんの登録数とケアの質という点では、国内屈指の病棟であると自負

しており、アロマセラピー、リフレクソロジー、マッサージ、音楽療法、アニマルセラピー、アートセラピー、傾聴、ティーサービスと挙げればキリがありません。「患者さんやご家族に楽になってもらいたい」「喜んでもらえることが自分たちの喜び」と、常に丁寧に、親切にかかわっていただいています。本当にありがたい存在です。



ボランティアの方によるマッサージの様子

緩和ケアⅡ末期、死…というイメージを抱かれやすいですが、決してそればかりではないことが伝わったでしょうか。緩和ケア病棟は最期に入る場所ではなく、病状が落ち着けば、住み慣れた地域にお戻りいただく、という考え方が主流となりました。地域を支える医療従事者と連携を図りながら、入院が必要となればスムーズに入れるシステムが作られていますので、緩和ケア病棟を上手に活用していただけると幸いです。私たち緩和ケアスタッフは、患者さんの自律性と意思を尊重し、心がホッとあたたかくなる看護を大切に、8B病棟でお出迎えいたします。

◎院内探検隊◎

— 6B病棟 —



6B病棟科長
堤美江

6B病棟は消化器外科・乳腺外科・泌尿器科・婦人科が主な診療科になります。消化器外科では、胆石症や虫垂炎、食道・胃・大腸などの悪性腫瘍の患者さんが多く、泌尿器科では腎臓・膀胱・前立腺などの疾患や、透析治療を受けられる患者さんが入院されます。

消化器外科・乳腺外科・泌尿器科・婦人科の全科において、手術や化学療法の治療を目的として入院される患者さんがほとんどです。消化器外科や婦人科の手術では、腹腔鏡での手術が主流になっていますし、泌尿器科では経尿道的内視鏡手術が多いので、身体への侵襲も少なく、1週間から2週間程度で退院となる患者さんが多くなります。短い入院期間の間に少しでも早く手術前の状態に近づけるように、手術後は翌日より歩行練習を開始し、理学療法士と共にリハビリを行っています。また、消化器

疾患の患者さんや化学療法の患者さんでは、治療や疾患、薬の影響で食欲が低下する患者さんもおられるので、管理栄養士に相談し、少しでもおいしく食事をとっていただけるようにしています。



多職種カンファレンスの様子

患者さんの中には、治療のために人工肛門や尿管皮膚ろうを造設する方がおられます。人工肛門や尿管皮膚ろうを造設することで排泄方法が変わるため、生活への不安や不便さを感じる患者さんもおられます。ボディイメージの変化を受け入れてもらえるよう、精神的なサポートを行うと共に、患者さんやご家族が新たな排泄方法を管理できるよう援助していくことが必要になります。6B病棟には皮膚排泄ケア認定看護

師が配属されていますので、人工肛門などの管理の負担が少しでも軽減できるよう、様々な患者さんに合う人工肛門の装具を揃えたり、装具交換の方法を工夫するなど、皮膚排泄ケア認定看護師と共に看護を行っています。また安心して退院していただけるよう、ソーシャルワーカーと連携して社会資源の活用についても提案しています。



人工肛門装具

入院患者さんの中には、数回の手術を必要とする患者さんや、化学療法で入院を繰り返される患者さんも多くおられます。長期に渡る治療の中で、痛みなどの身体的苦痛を軽減するだけでなく、不安なく治療を受けて、安心して退院後の生活に戻っていただけるような看護をしていきたいと考えています。

☆知って得する病気の話

頭痛のはなし

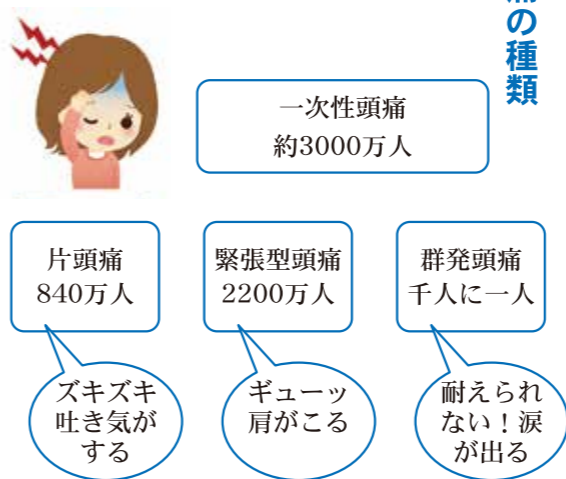


神経内科部長
上古眞理

はじめに

頭痛に悩まされている方は結構多いのではないのでしょうか。時々痛いだけだから、ちよつとの間我慢したら治るから、市販薬を愛用しているけれど飲んだら効くからなどの理由で一度も医療機関を受診されたことがない方も沢山おられると思います。今日はこの頭痛持ちのことについて話をしていきます。

頭痛の種類



より夕方疲れてきたときの方が症状がきつくなります。

・群発頭痛

突発的に目や目の上、こめかみにえぐられるような激しい頭痛が起こります。痛みの目が充血したり涙が出たり鼻水が出たりします。夜中に起こることが多く、1から2ヶ月、ほぼ毎日15分から3時間発作が起こります。年に1から2回の人から数年に1回しか起こらない人もいます。飲酒がきっかけになることが多いです。患者さんの多くが男性で、あまりの痛さに救急搬入され、泣いているように見えますが、よく見ると片方の目からだけ涙が出ています。

診断

採血、頭部CTやMRI検査で身体や頭の中に異常がないか確認します。一番大事なのは問診です。いつから、どんな時に、どんな症状が起こりどれくらい続くか、家族に同じ症状の人がいないか、食事やお酒、タバコの習慣など、ちゃんとメモしてから受診していただくことが大事です。

治療

・片頭痛

軽い発作の時は市販の痛み止めでも効果があります。きついときはトリプタン製剤が処方されます。吐き気がきつくて服用が

脳やからだに異常がないのに何度も起こす頭痛のことを一次性頭痛と言います。一次性頭痛の代表的なものとして片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛があります。頭痛持ちと言っている方はこのどれかに当てはまるものがほとんどです。

一方、二次性頭痛とは脳腫瘍が脳出血などに伴って突然起きてくる頭痛で場合によっては命に関わるものです。吐いたり、意識が朦朧もろろしたり、手足が麻痺したりなど他の症状もともなうてきますのでこういう場合はすぐに病院を受診しましょう。

症状

・片頭痛

脈をうつようなズキズキとした痛み、時に吐き気があったり吐いたりします。頭の半分だけが痛くなるとは限らず全体に痛い

最初キラキラとした光の点から始まり次第に大きくなり視界の外に消えていく。キラキラ光っている部分の視界は見えていない。20分から40分続く

閃輝暗点
せんきあんてん



閃輝暗点がおさまった後に頭痛発作が起こる



・緊張型頭痛

首から後頭部に締め付けられるような痛みが続きます。肩が凝っていると自覚していることが多いです。頭が重いなあとかハチマキで締め付けられるようとか表現されることもあります。身体がふわふわするめまいや、目の疲れ、身体全体のだるさを感じる人も多いです。痛みで日常生活に支障をきたすほどのことはありません。朝起きた時



変視症
不思議の国のアリス症候群

くというの効果があります。暑い季節はエアコンで肩が冷えますからシャワーだけでなく湯船に浸かるだけで頭痛がおさまることもあります。

・群発頭痛

発作の時は酸素吸入、トリプタン製剤を使用します。発作が続いている間は絶対に禁酒です。予防薬としてワソランやステロイドなどを使用します。

最後に

頭痛は身近な疾患なので病院を受診されないことも多いです。軽度であれば問題ないのですが中には薬を使いすぎている場合があります。そうなると薬の過量服用による頭痛が起こることがあります。また、わざわざ頭痛を悪化させる生活を続けているために辛い思いをしまっていることもあります。気になる場合は神経内科を受診してください。



☆知って得する病気の話

血小板のはなし



血液内科医員
白井亜沙子

血液内科は、あまり馴染みのない科だ
と思いますが、今回は、血小板減少、特
発性血小板減少性紫斑病について書かせ
ていただきます。

血小板

けがをすると出血しますが、傷つい
た血管の壁にふたのように貼り付い
て、止血してくれるのが血小板とい
う細胞です。では、血小板が、何らかの
病気により少なくなってしまうとどう
なるのでしょうか。当然のごとく、血
が止まりにくくなります。血小板が少
なくなること、どんな症状が出るか
というと、ぶつけた記憶のないところ
に打ち身のようなあざ（紫斑）や赤い
点々（点状出血）が全身に出来たり、
歯ぐきからの出血（歯肉出血）、鼻血が

よく出る、などです。
放置しておくと、これらの症状以外
に脳や消化管、肺などの重要な臓器か
ら出血がおこり、命に関わることもあ
ります。



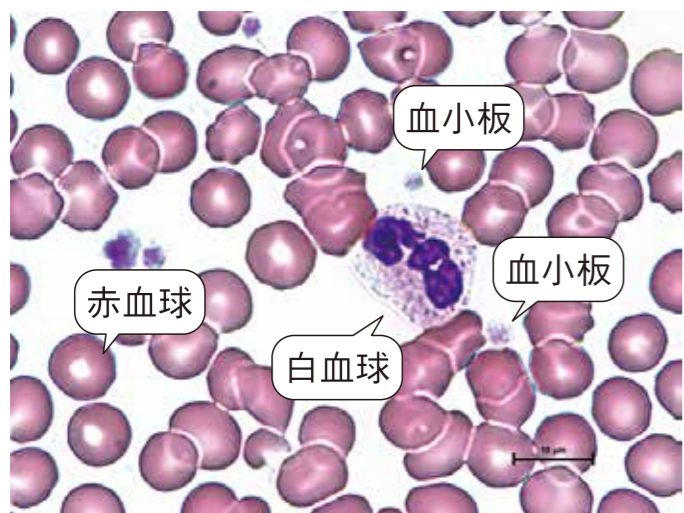
特発性血小板減少性紫斑病（ITP）

血小板が少なくなる病気として、特発
性血小板減少性紫斑病（Idiopathic
Thrombocytopenic Purpura又は
Immune Thrombocytopenia:ITP）
という病気があります。ITPは国が
指定する難病(特定疾患)の対象となつて
います。有病者数はおよそ2万人で、
罹患率は10万人あたり2人程度とされ
ています。

急性型と慢性型があり、急性型は5歳
以下の小児に多く、慢性型は20-40歳の
女性に多いですが、高齢での発症もあり
ます。慢性型の方は、症状がなく健診で
たまたま発見されることもあります。

血小板が減少する原因は？

何らかの原因で血小板の表面にある
蛋白質に対する自己抗体抗血小板抗
体（抗体）が産生されます。この抗血小板抗体
が結合した血小板は脾臓などに取り込
まれ、マクロファージという細胞に食
べられてしまいます。また、骨髄での
血小板の産生を低下させてしまうとも
いわれています。自己抗体がなぜでき
るのかは、はっきりとしたことはわ
かっていません。薬が原因になって発
症することもあります。



末梢血液像

ピロリ菌との関係

ピロリ菌は、胃癌や胃潰瘍との関連
があるとして知られていますが、IT
Pとも深く関わっており、ピロリ菌の
除菌によって、血小板数が増加する方
がいます。ピロリ菌とITPがどのよ
うに関係しているのかは、詳しくはわ
かっていません。

ITPの治療

無症状の軽症の方では、無治療で経
過観察をします。血小板数が少なく、
出血の危険性がある方では治療を行
います。自己抗体の産生や働きをおさ
えることや、血小板数の産生を増やすこ
とを目的とした薬物療法を行います。
薬物療法でも難しい場合は、脾臓摘出
を行うこともあります。

血小板が少なくなる病気

血小板が少なくなる病気は、ITP
だけではなく、急性白血病、骨髓異
形成症候群、再生不良性貧血などそ
の他の血液疾患でも起こります。ま
た肝硬変や膠原病など血液内科領域
でない病気でも血小板が少なくなる

ことがあります。

どの年齢の方にも起こる病気ですの
で、疑わしい症状があれば、医療機関
を受診してください。また血液検査で
血小板が毎回少なく、精査を希望され
る方は、一度当科にご紹介ください。



特発性血小板減少性紫斑病 「急性型」と「慢性型」の特徴

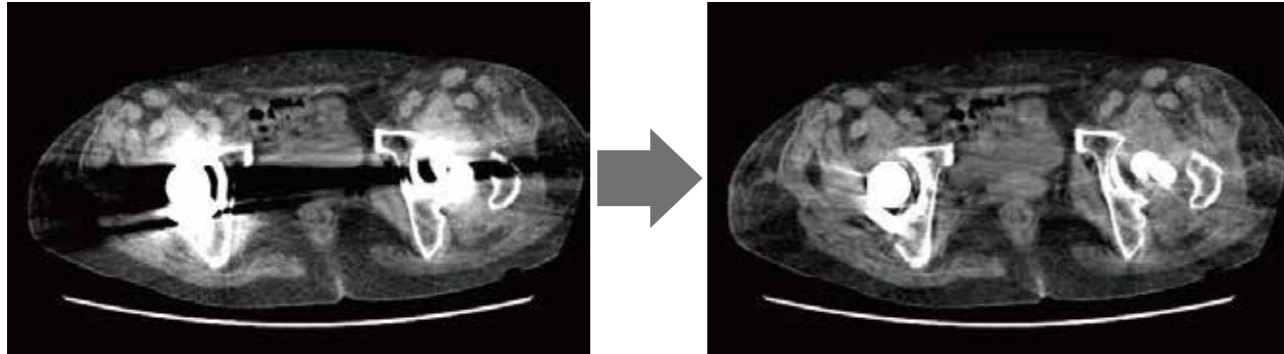
	急性型	慢性型
好発年齢	2~5歳	20~40歳
男女比	1:1	1:2~4
発症	急性の発症	発症時期はしばしば不明
先行感染	ウイルス感染、予防接種	なし
出血症状	強い	無症状の場合もある
経過	6ヶ月以内に治癒	6ヶ月以上慢性に経過する

臨床雑誌内科102(6):1418-1423, 2008より作成

既存の64列は40mmの検出器でしたが、320列は160mmの検出器となり、4倍の範囲を一度に撮影します。
 既存の装置で160mmの範囲を撮影しようとする約7秒かかるのが、320列装置では最短0.275秒で撮影できます。
 “まばたきする間”までとは言いませんが“ウインクする間”に撮影できます。
 例えていうなら、日本最速ランナー桐生選手が既存の装置では70m走る時間があったのに新機種では“一歩”しか動けません。

メリット1：様々な画質向上機能

SEMAR…逐次近似再構成を応用した画像再構成技術で金属などに起因するアーチファクト成分のノイズ除去処理を行います。



Original

SEMAR

メリット2：被ばく線量の低減

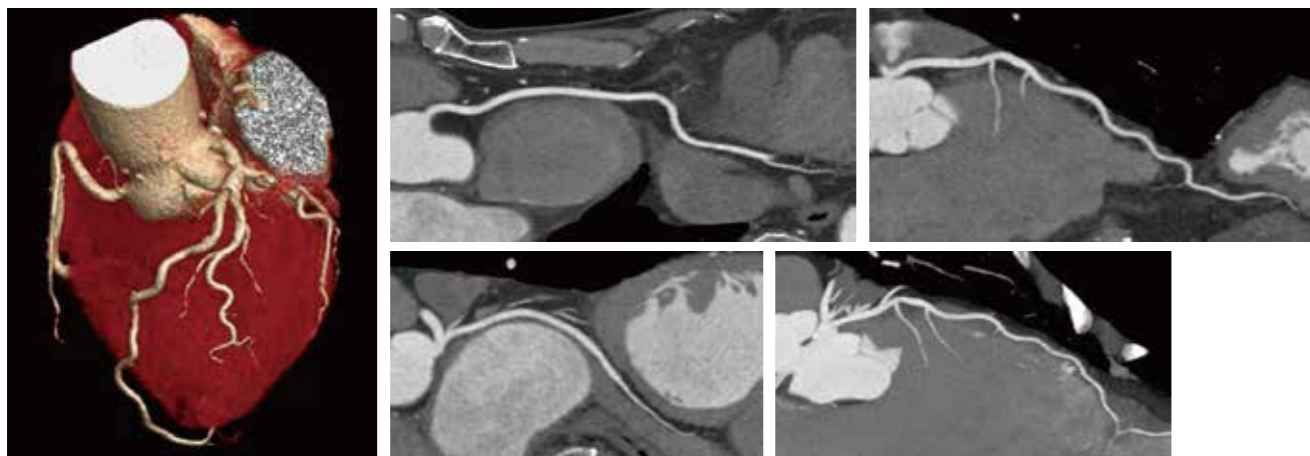
最新検出器の導入により被ばく線量が20%低減（同社比）。ヘリカルスキャンによるオーバーラップがなくなるためその分の被ばく線量も低減。また最新画像再構成技術の活用により更なる被ばく線量低減が可能。（心臓CTにおいては約80%の被ばく低減）

メリット3：Dynamic Volume Scanによる血流・動態情報の付加

寝台の移動なく撮影ができることで、同一撮影範囲の時間軸をも考慮した4D撮影が行えます。腫瘍や動脈瘤治療ステントなどへの造影剤の流入・流出画像が撮影可能。頭部・心筋Perfusionの解析ソフトも導入しviabilityも評価可能。

メリット4：心臓CTでの様々なリスク低減

160mm範囲検出器・0.275秒撮影・FIRST・SEMARを有する新機種では、今まで評価困難であった石灰化、ステント、不整脈、高心拍症例であっても非常に安定して画像化でき、より多くの患者に適用可能。



管球回転速度が**県内最速の0.275秒**。心臓検査で力を発揮し冠動脈をブレることなく撮影できます。



最新320列検出器搭載

体軸方向に0.5mmスライス幅×320列の検出器を有し、寝台を動かさずに160mmの範囲を一回転で撮影できます。静止が困難な小児の頭部検査を鎮静することなく短時間で行えます。

今春、当院ではCT装置を最新装置に更新しました。CTとはcomputed tomographyの略で、コンピューターを用いた断層撮影のことです。CTは、1972年にイギリスのハンスフィールド氏とアメリカのコーマック氏によって発明されました。（ともに1979年度ノーベル生理・医学賞受賞）最初の商業的なCTは、Thorndike中央研究所で開発されたもので、断層画像を得るのに画像一枚あたり約11分かかりました。現在では一枚あたり数秒で得られます。なお、同社に所属していたビートルズの記録的なレコードの売上が、EMI社の科学研究資金の供給元だったとも考えられるため、CTは「ビートルズによる最も偉大な遺産」とも言われています。

CT検査では、他の放射線検査では得られない詳細な形態画像を得ることが可能で、現在の画像診断の根幹を成す検査と言えます。一方で他の放射線検査に比べると被ばく線量は高い部類に入ります。しかし機器の進歩で被ばく線量は低下しており健康を損なうほどの線量を超えることは「ありえない」ことなので安心して検査を受けてください。

しかし、CT装置が進化し被ばく量が低下したからと言っても、むやみやたらに検査を行ったり、また常に全身を撮影することはありません。検査をオーダーする医師は診療上その検査が必要かどうか（正当化）の判断をし、診療放射線技師はより低い線量で、より質の高い画像を提供する（最適化）ことを常に実行しています。当院においても畑放射線科主任部長の指導の下、2名のX線CT認定技師を中心に、より良い最適化に日々努力しております。



臨床研修医
初年度を終えて
かつらぎ あつし
桂木 淳志

初めまして、昨年より初期臨床研修医として彦根市立病院ならびに彦根市民の方々に世話になっております、桂木淳志と申します。若輩者ではありますが、初期臨床研修医として日々の業務を行いながら医学・医療について学ぶという大変有意義な時間を過ごさせていただいております。

私はもともと大阪府出身なのですが父の転勤で幼稚園の頃に滋賀県へと越してきました。極々普通の小学校生活を送っていたところ、再度父親の転勤が決まり今度は日本を離れスウェーデンという北欧の国へと移住することとなり、その後もアメリカ合衆国イリノイ州・コネチカット州と数回の引っ越しを繰り返しておりました。高校卒業を機に帰国し、東北大学医学科へと入学することになりました。

そんな引っ越し歴だけは家族以外の誰にも負けたことのない私ですが、現在、臨床研修生活を過ごす上で何より言葉の大切さを痛感しております。日本語と外国語同士の会話ほど全く通じないというわ

けではありませんが、ちょっとした言葉や文脈の捉え方の違いが認識の齟齬を生んでしまうことや、その逆に何気ない会話の中の違和感から診療のヒントを得たりすることがあり、当たり前であるが故に忘れがちなコミュニケーションの重要性を再認識しています。また、自分自身の知識と経験が足りないがために患者さんやご家族に専門用語を使わずに分かりやすく噛み砕いて説明することに難渋したりと、あらゆる点で成長していかなければならないと日々反省する次第です。

幸いなことに理解ある研修医の同期や先輩に恵まれ、経験・知識共に豊富な各科の先生方、看護師さんや医療スタッフのご指導のもと、時に手を時に知識をお借りしながら病院スタッフのみならず患者さんやご家族を含めた彦根市立病院に関わる方々と良い信頼関係を築き、その中で良質な医療を提供出来たらと考えております。

残り一年ではありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

看護部だより

集中ケア認定看護師
榎木 愛美



集中ケア認定看護師
榎木 愛美

「集中ケア認定看護師」は、生命の危機的状況にある患者さんの病状変化を予測して、重症化の予防や早期回復のための支援を行う看護師です。私は日本看護協会の認定する施設で約半年間の研修と認定審査を受け、2016年に当院2人目の集中ケア認定看護師になりました。現在はICU(集中治療室)で勤務しています。

〈当院のICUについて〉

救急車で運ばれてきた患者さんや大手術後の患者さんだけではなく、一般病棟に入院中に状態が急激に悪くなった患者さんなど、診療科を問わずあらゆる重症患者さんに対応しています。

ICUの専任医師や主治医、看護師、臨床工学技士、理学療法士、管理栄養士など多職種で毎朝一人ひとりの患者さんについての話し合いを行い、病状はどうか、回復のために少しでもサポートできることはないかなど、常に目の前の患者さんをよくしたいという思いでチーム一丸となって取り組んでいます。

当院ICUは湖東保健医療圏では唯一のICUです。「ここでしか、助けられない命がある」との思いで、重要な使命を果たさなければならぬと思っています。

〈私の活動〉

重症患者さんは、言葉を発することができ



多職種カンファレンスの様子

ず、思いをうまく表現することができないことがあります。また、身体のバランスとは異なることが多いため、私たちが良かれと思ってるやることが合併症に繋がるなど、悪循環を招くこともあります。そのため、患者さんをよく観察し、身体でおこっていること、これからおこり得ることを正しく予測することが重要で、必要なケアとそうでないケアを見極めながら、根拠ある看護実践を行っています。また、人工呼吸器を早く外せるような取組、早期リハビリテーション、早期栄養管理が実施できるような支援を行っています。そしてそれらを患者さんのケアに携わるスタッフ全員が安全に確実に実施することができるよう、お手本となる看護実践を心がけ、指導を行ったり、相談に応じることもあります。

私の活動の場は主にICUですが、ICU以外の患者さんもサポートしています。院内救急チーム(RRS)と、呼吸ケアサポートチーム(RST)という多職種で構成された二つのチームに所属し、一般病棟の患者さんの院内での急変を防ぐための取組や、安全な呼吸管理ができるよう、定期的に病棟のラウンドを行っております。また、院内スタッフを対象とした勉強会を開催したり、新人看護師の研修の講師などの役割も担っています。

〈最後に〉

ICUで治療を受けている時から患者さん一人ひとりの退院後の生活を思い描き、少しでも後遺症がなく元の生活に戻れることを目指していきたいと思っております。また、限られた環境の中でも最大限の安楽が提供できるよう、患者さんご家族に寄り添った看護を実践していきたいと思っております。



RSTラウンドの様子

彦根市立病院とわたし 薬剤師 こめ たに りょう た 米谷領太

2018年度より抗菌薬適正使用支援チームを設立し、私はより良い感染症治療のサポートを目標に活動しています。

患者さんへの適切な薬物治療の提供
薬剤師



薬剤部での私の役割

当院では病棟に担当の薬剤師を配置し、医師・看護師・メディカルスタッフと連携して安全で質の高い薬物治療を行うことを目的とした病棟薬剤業務を開始しています。

病棟薬剤業務では、入院時に患者さんが持参された薬の内容や服用状況の把握、入院中の処方には事前に投与量や薬と薬の相互作用などをチェックし、必要に応じて医師と処方内容を検討して患者さんへの適切な薬物治療の提供に取り組んでいます。私は病棟を担当する薬剤師として、また院内の感染症対策を行うチーム医療の一員として働いています。



感染症治療の支援にむけて

「薬剤耐性」という言葉をご存知でしょうか。現在、世界中で抗菌薬の効かない「耐性菌」が増加していることから、日本でも薬剤耐性の拡大防止に取り組んでいます。誰もが耐性菌による感染症になる可能性があり、将来は現在より感染症治療が困難になっていくかもしれません。耐性菌の出現には抗菌薬の不適切な使用が一因とされ、当院でも今年から新たに抗菌薬の適正使用と耐性菌の出現を抑える支援を行う「抗菌薬適正使用支援チーム(AST)」を立ち上げ、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師がチームとなって活動しています。

薬剤師としての責任感を持って

感染症治療の支援には、感染症が起きている臓器(肺炎なら肺など)と原因となっている微生物(細菌や真菌など)を想定し、必要に応じて適切な細菌検査の実施、より効果的な抗菌薬の選択、患者さんの体格や腎機能に合わせた投与量の設計、副作用の早期発見に関する情報提供を行っています。患者さんが質の高い感染症治療を受けられるように、少しでも助けになれることを第一に考え、また耐性菌を未来の子供たちに残さないように今できることから始めています。これからもチームの一員の薬剤師として責任感を持ち、院内の感染対策への取組に貢献できるように励みます。

抗菌薬適正使用支援チームにおいて、薬の専門家である薬剤師の職能を活かし、当院での抗菌薬の適正使用に貢献できることを期待しています。



薬剤部
三露久生 部長



第9回ふれあいまつり

外科体験！縫合してみよう！

みんなで考えよう！自分の健康、地域の健康

青空のもと、「彦根古城太鼓」の迫力ある演奏をオープニングセレモニーに、「第9回彦根市立病院ふれあいまつり」が開催されました。

今年のテーマは「みんなで考えよう！自分の健康、地域の健康」です。開催日の6月2日(土)は、約3000人もの方にご来場いただき、臨時駐車場までほぼ満車、整理券は長蛇の列ができるほどの大盛況でした。

院内では、1階から3階まで様々な展示や体験が行われていました。今年は、市民の方が体験できるイベントに力を入れ、約20種類のブースを用意しました。例年大人気の「あなたは何歳？血管年齢測定」や「アロマハンドマッサージ」、「脳の健康チェック」をはじめ、「未来のナース誕生」や、「薬剤師キッズチャレンジ」など、子どももいっしょになって参加し、楽しめるブースが盛りだくさんでした。実際に体験された方々からは「健康について興味を持つようになった」「悩み事が解消された」「減多にできない体験ができた」と、嬉しいお言葉をいただきました。



これが最新のカテーテル手術だ！

今年は、過去に人気のあった体験コーナーの「外科体験！縫合してみよう！」これが最新の心臓カテーテル手術だ！が復活しました。初めて見る見慣れない機器や道具に、皆さん興味津々の様子でした。



彦根古城太鼓

医師や看護師、医療機器のスペシャリストから教わりながら、みなさん真剣な顔つきで取り組んでいました。中には、将来は医者を目指す子どもも参加しており、未来のための、いい経験になったのではないのでしょうか。

院内見学ツアーでは、普段は入ることのできないヘリポートからの眺めに「来年も見に来たい、晴れてよかった」と喜んで話される方もおられました。



DMATの救急車展示



薬剤師キッズチャレンジ



心肺蘇生講習会



院内見学ツアー

中庭では、「フェスタinぱていお」が開催されていました。ピュアプラスさんの吹奏楽の演奏で



吹奏楽「ピュアプラス」



Kid'sダンス



吉井ヒカルさん ギターライブ



彦根市立病院O×クイズ

はじまり、Re.さんのエレクトーン、Noblie Y!さん、吉井ヒカルさんのギターの音色が響き、子どもたちのパワフルなダンスも繰り広げられていました。そして午後からは、大人気のひこにやんが登場し、会場は大盛り上がり。ひこにやんと写真を撮った後は、「彦根市立病院O×クイズ」が行われ、ひこにやんと一緒に考える親子の楽しそうな姿を見ることができました。

その他にも、模擬店からはイカ焼きやたこ焼きの香ばしい香りが漂い、羊毛キーホルダー作りや人形が描く似顔絵コーナーにも多くの列ができていました。



エコマーケット「夢畑」



羊の毛刈り

中庭を出ると、リハビリ庭園の鮮やかな緑に囲まれて、エコマーケット夢畑のフリーマーケットが30ブースほど立ち並んでいました。様々な掘り出し物に、足を止めておられる方も多くおられました。

正面玄関前では、福祉作業所による出店、滋賀大マルシェやひこねで朝市のブースが立ち並び、お昼には羊の毛刈りショーが行われました。ふわふわの羊がプロの手によって綺麗さっぱり刈られていく姿に、驚きの声がたくさんあがっていました。

「彦根市立病院ふれあいまつり」は、今年で第9回目を迎えます。本院だけでなく、様々な団体が協力しあい、そして、ご来場いただく市民の皆さんといっしょに作りあげた催しです。

今後このような取組を通じて、地域住民の皆さんに親しまれ、安心とぬくもりのある病院を目指して取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

入退院支援室の主な業務内容

主な業務として、入院の手続き、入院に必要な準備、予定検査・手術に関する説明や入院から退院後の生活などに関する相談を行っておりますが、そのほかに少しでも安心して、入院生活を送っていただけるように他部門と連携をして以下のようなことを行っております。

合併症の予防や“食べること”の維持のための口腔内治療



手術や治療（化学療法や放射線治療）を受ける患者さんや糖尿病などの基礎疾患がある患者さんには、口腔外科を受診していただきます。口腔内の環境を清潔に保つことは非常に大切で、肺炎などの治療の合併症の予防や“食べること”を維持するために重要なことです。歯石除去などの歯周病管理と合併症を起こす可能性がある歯は抜歯などを行います。

日頃からかかりつけ歯科医院を持ち、かつ、セルフケアとして口腔内を清潔に保つ習慣を持つことを大切にしていきたいと思っております。

管理栄養士による栄養状態の把握や指導



管理栄養士による栄養状態の把握や指導も行っております。患者さんから食に関する情報収集を行いながら栄養状態を把握していきますが、栄養管理は全ての治療に必要な不可欠で、栄養状態を良くすることで効果的な治療(早期回復)につながるとされています。

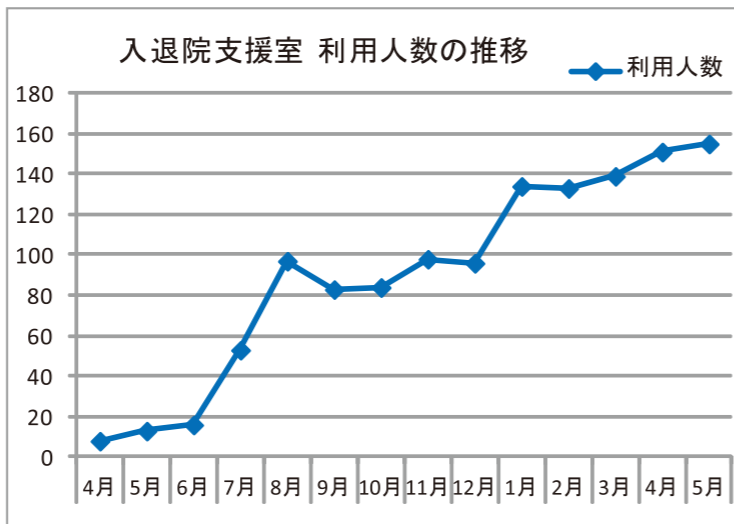
医療費、仕事、介護等に関する医療ソーシャルワーカーによる対応

入院されるにあたり、「医療費の支払いが不安」「仕事を休む間の収入は?」「介護の必要な家族がいるので入院できない」「退院後の生活が不安」など、様々なご不安が生じると思います。そのような時は専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)にご相談ください。ご不安の内容に応じて、各種の福祉や保険の制度等を活用しながら、一緒に考えさせていただきます。また、必要に応じて院内外の関係機関との連絡調整を行ったり、担当のケアマネジャーさんと相談しながら安心して入院していただけるようお手伝いさせていただきます。

入院早期からの連携した支援

がん相談支援センターの専門スタッフによるカウンセリング

がんと診断された患者さんの場合は、突然“がん”と宣告され不安な日々を送られていると思います。「不安でたまらない」「誰かに話を聞いて欲しい」「病名を聞いたがどのような病気なのか?」など、がんという病気に伴う様々な心配や悩み事などを、がん相談支援センターの専門スタッフがお話を伺い、少しでも病気に対して前向きに向き合えるように支えてまいります。



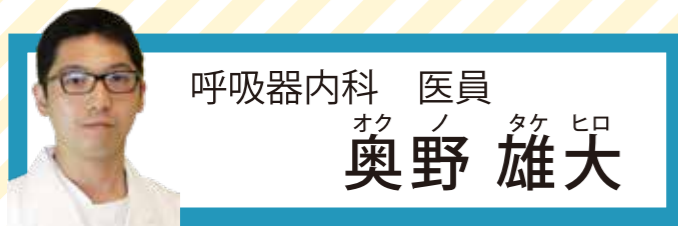
入院生活に向けてのスタッフによる説明や相談



当院では平成29年度から「入院支援センター」を開設し、平成30年4月から「入退院支援室」と名称を改め、新たに活動をしています。医師から「入院の必要性」を告げられた瞬間から入院のための準備が始まります。入院という日常的でない環境に身を置く不安を少しでも取り除けるように患者さんやご家族を支援しています。入院患者さんの一人ひとりの生活は様々で、決して一様ではありません。「どのような治療がなされるのか?」、「どのくらいの期間が必要なのか?」、「今の仕事はどうするのか?」、「退院後の生活はどうするのか?」など、私たちスタッフがそのような悩みに対してお話をさせていただくことで少しでもその不安をやわらげられればと思っております。

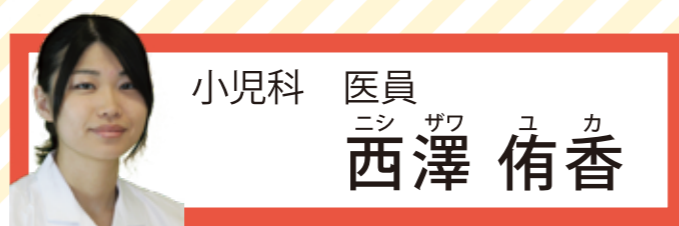
入院患者さんをサポートする 入退院支援室

入退院支援室 看護科長補佐
清水 寿佳



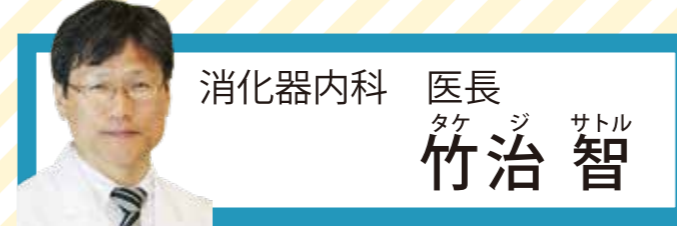
呼吸器内科 医員
奥野 雄大

- ①平成23年卒
- ②呼吸器内科
- ③日本内科学会認定内科医
- ④マラソン
- ⑤彦根市出身です。チーム医療を心がけ、地域医療に貢献できるよう、初心を忘れずに精励恪勤してまいります。



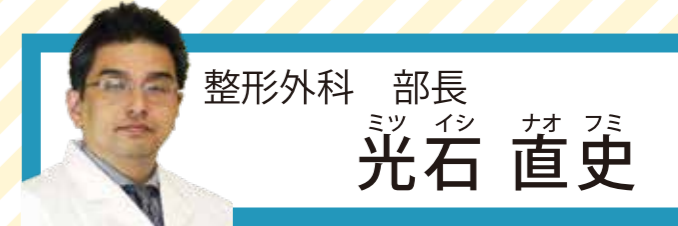
小児科 医員
西澤 侑香

- ①平成25年卒
- ②小児科一般
- ③日本小児科学会・日本小児血液・がん学会
日本小児神経学会
- ④バドミントン
- ⑤地域子どもたちが笑顔で過ごせるように頑張ります。未熟者ですがよろしくお願ひします。



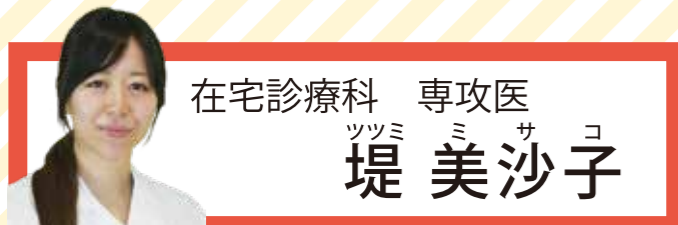
消化器内科 医長
竹治 智

- ①平成19年卒
- ②消化器内科 腫瘍内科
- ③日本臨床腫瘍学会、がん薬物療法専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本内科学会認定内科医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ④ジョギング 水泳 山登り
- ⑤この地域のがん医療や消化器内科医療に少しでもお役に立てればと思います。腰を据えて頑張るつもりですので、よろしくお願ひします。



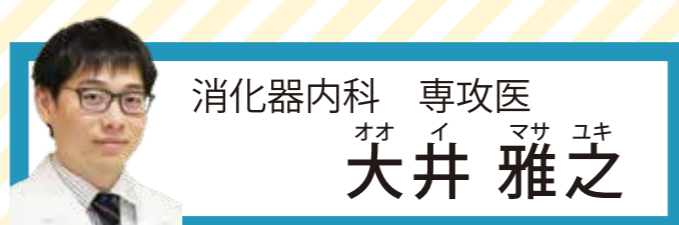
整形外科 部長
光石 直史

- ①平成15年卒
- ②整形外科 外傷整形外科
- ③日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医
スポーツ医 運動器リハビリテーション医
AO Trauma Japan 評議員
- ④旅行
- ⑤2年間の岐阜県高山市での勤務を経て、3年ぶりに当院で仕事することになりました。地域の役に立てるように精進したいと思います。



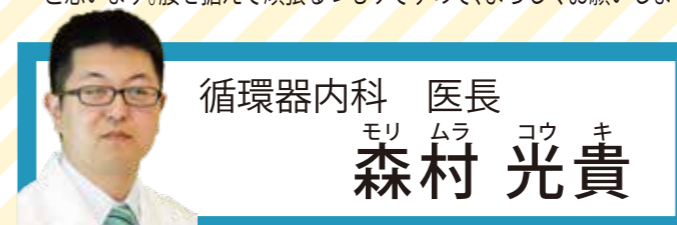
在宅診療科 専攻医
堤 美沙子

- ①平成27年卒
- ②在宅診療科
- ③日本内科学会 プライマリケア連合学会
- ④旅行、ライブに行くこと、ジムで運動すること
- ⑤患者さんが住み慣れた我が家で安心して治療が続けられるように頑張ります。



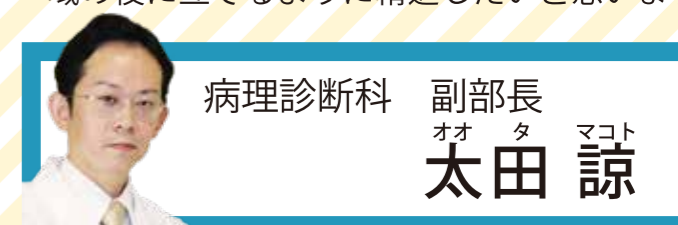
消化器内科 専攻医
大井 雅之

- ①平成27年卒
- ②消化器内科
- ③内視鏡学会 消化器病学会 内科学会
- ④読書、バドミントン
- ⑤初心を忘れず、丁寧な医療を心がけたいと思います。日々、成長できるよう、精進してまいりますので、よろしくお願ひします。



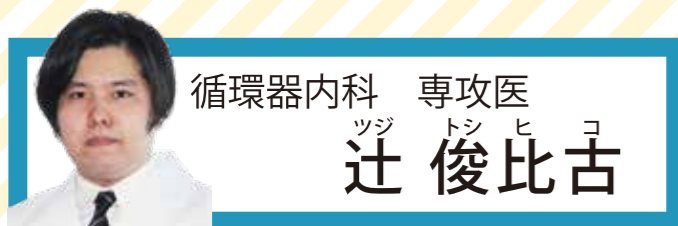
循環器内科 医長
森村 光貴

- ①平成21年卒
- ②内科一般（特に糖尿病）
- ③日本内科学会
- ④読書
- ⑤まず、内科認定医を取得した後、内科系の専門医取得を目指したいと思います。



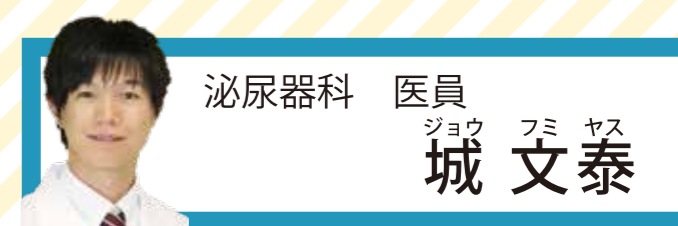
病理診断科 副部長
太田 諒

- ①平成18年卒
- ②病理診断科
- ③病理専門医
病理専門医研修指導医
細胞診専門医
- ④旅行、写真
- ⑤病理診断の限界や観察者間差の存在を意識した診断を行うよう心がけています。



循環器内科 専攻医
辻 俊比古

- ①平成27年卒
- ②循環器内科
- ③日本内科学会
- ④サッカー、旅行、スノーボード
- ⑤初めての彦根でわからないことも多いですが、少しでも病院・地域に貢献できるよう、頑張っています。



泌尿器科 医員
城 文泰

- ①平成23年卒
- ②泌尿器科全般 結石治療
- ③日本泌尿器学会
- ④バドミントン、ラーメン店巡り、カラオケ
- ⑤丁寧な説明を心がけ、患者さんやその家族が安心して治療を受けられるよう、努力します。

NEW DOCTOR Profile

- ①卒業年
- ②専門分野
- ③専門医・認定医/所属学会
- ④趣味
- ⑤抱負

看護師

NEW FAC E



あらきた ゆい
荒北 結衣

いわさき あや
岩崎 彩

おくら かなこ
小倉 佳那子

かわしま あや
川島 彩

きたがわ なみ
北川 奈弥

くらがき えり
倉垣 江梨

くりた まさや
栗田 雅也

こほり たかし
小堀 隆史

さとう なお
佐藤 奈央

しみず ゆなん
清水 佑南

すぎうら ゆめな
杉浦 夢菜

たいなか さあや
田井中 沙彩

にしなか ゆうき
西中 悠希

にしざわ ゆりか
西澤 由理香

にしおら なぎさ
西村 渚

ふじかわ みずき
藤川 瑞希

わかばやしまい
若林 舞

新規採用看護師 研修の様子



新規採用看護師17名
一生懸命頑張りますので
宜しくお願いします。

以下、新規採用看護師を代表いたしまして、3名からのコメントです。

幼い頃、祖父が彦根市立病院の緩和ケア病棟に入院しており、その時にお世話してくださった看護師のみなさんの優しさや丁寧な対応にとても心が穏やかになったのを覚えています。それから看護師を目指し彦根市立病院で働きたいと思うようになりました。私も患者さんやご家族の方々に少しでも心が穏やかになるような看護ができるよう頑張ります！よろしくお願いします。
杉浦 夢菜

高校生の時の看護師体験で、当院で働く看護師の方々の患者さん、ご家族への優しく接する姿を見て、ここで働きたいと強く思いました。初めてのことばかりで、いろいろと教えていただき、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、1日でも早く素敵な看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。
藤川 瑞希

私は、小さい頃から彦根に住んでいるので、看護師になりたいと思った時から、彦根市立病院で働けたらいいなと思っていました。今は、まだまだ分からないことがたくさんあり、緊張と不安の毎日ですが、私を指導してくださる先輩方や支えてくれる仲間への感謝の気持ちを忘れずに何事にも学ぶ姿勢を持ちながら一生懸命頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。
岩崎 彩

10月1日から

地域包括ケア病棟を開設します

10月1日から、現在の7B病棟は、一般病棟から地域包括ケア病棟へ変わります。

ただし、9月30日までは一般病棟ですが、移行のための準備期間として、実際には地域包括ケア病棟として運用します。そのため、入院中の患者さんで対象となる方は、この病棟へ移動をお願いすることがあります。

地域包括ケア病棟とは

急性期の治療が終了し病状が安定した患者さんに対して、医師や看護師、リハビリテーション職員、医療相談員等が協力して、自宅や介護施設等への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。

対象となる患者さんは

自宅または介護施設等に復帰予定の方で、

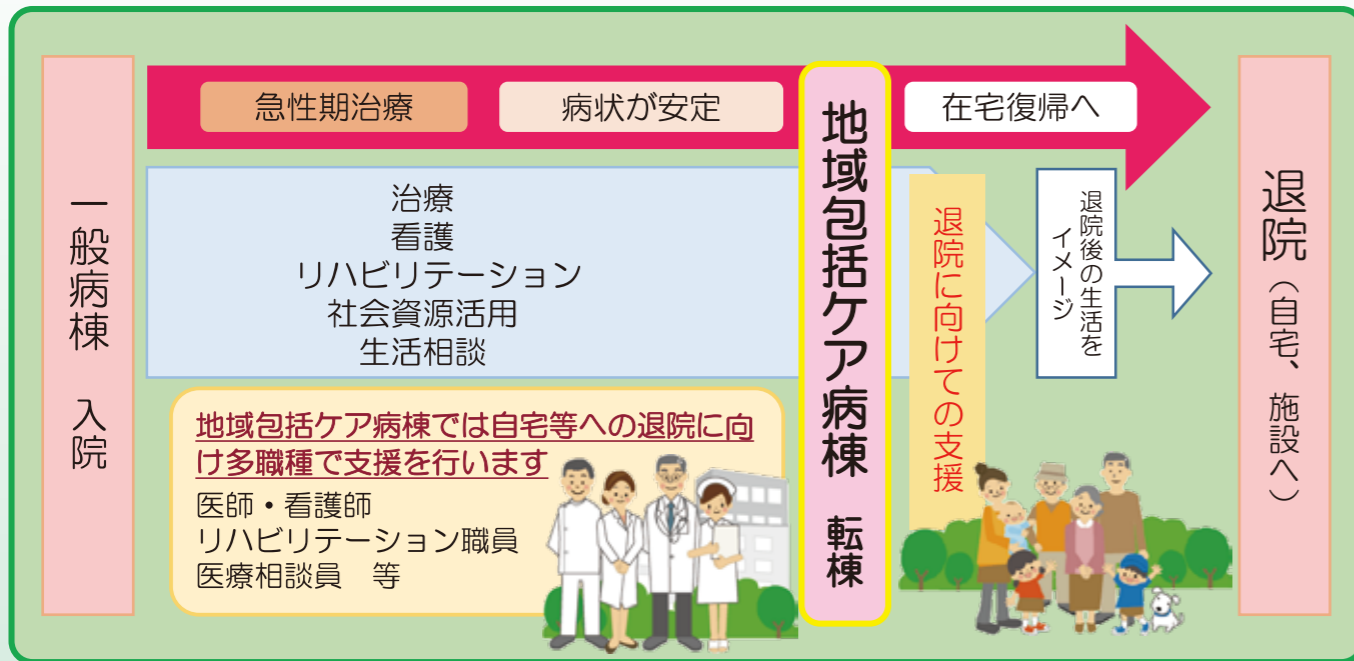
- 1 入院治療により病状が改善したが、もう少し経過観察が必要な方
- 2 自宅等への復帰に向けて、もう少しリハビリが必要な方
- 3 自宅等での療養準備が必要な方

退院までのながれ

【一般病棟に入院した場合】



【一般病棟から地域包括ケア病棟に転院した場合】



入院費について

患者さんにより入院費は異なりますので、詳しくは医事課の入院会計担当までお問い合わせください。

通院で安心して治療を受けていただくために

通院治療センター

通院治療センターは病院の最上階である8階に位置しています。治療中に窓から見える景色は、犬上川と荒神山、そして四季折々の田園風景で、ゆったりと治療を受けていただける空間となっています。

当センターではがん化学療法と、点滴で生物学的製剤を使用する方の治療を担当しています。

利用する方は年々増加の傾向で、昨年度は10年前と比べると約2.5倍となる年間約2800件の治療を担当させていただきました。多くの患者さんに利用いただけるよう、7月からベッド数を10床から12床に増床して運用しています。



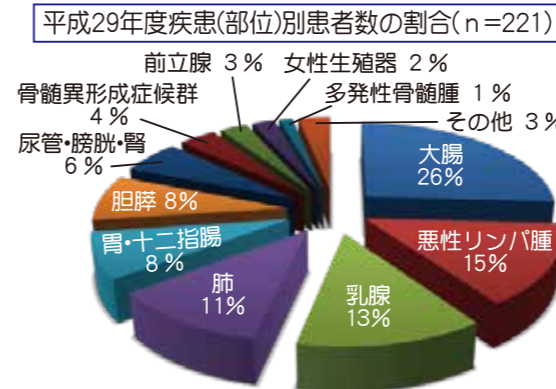
がん化学療法とは

がんの治療は、大きく分けると『手術療法』『放射線療法』『化学療法』の3つの

柱があります。先の2つは、局所療法と呼ぶのに対し、『化学療法』は薬剤が点滴または経口で体内に入り全身に効果が出ることから、全身療法と呼ばれています。

薬剤の種類としては、抗がん剤やホルモン薬・特定の分子をターゲットとして効果を表す分子標的治療薬、そして最近話題が多い、免疫チェックポイント阻害薬など様々な種類があります。近年、患者さん一人ひとりに合わせた『個別化治療』の進歩があり、当院でも科学的根拠に基づいて実践しています。

また当院には本年4月から、湖東・湖北医療圏で唯一のがん薬物療法専門医（消化器内科・竹治医師）が着任しております。診療科の垣根を超えた医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・管理栄養士等が協働し、患者さん一人ひとりに合わせたケアを提供しています。



治療中の『じろ』の理解に努めたい

治療期間中は時期によって「気分がすぐれない」「気持ち落ち着かず不安定」など、様々なこころの変化があるかもしれませんが、私たちがその時々患者さんの思いの理解に努め、それぞれの方の背景を大切に、『今』『これから』をサポートさせていただきます。きたいと考えています。どんなことでも相談してください。

今後ともどうぞよろしく申し上げます。

ヘアランス支援コーナー

がん治療による副作用で、髪の毛が抜ける、爪の色が変色するなど、外見の変化がみられると、『外に出たくない』『人と会いたくない』と感じる方が少なくありません。そのような外見に対する苦痛を抱える方に対し、対処法を一緒に考えサポートさせていただきます。



これであなたも10歳若返る!?



嚥下トレーニング

~いつまでも美味しく食べるために~

文とモデル
リハビリテーション科
みぞかみ よしたか
言語聴覚士 溝上 慶隆

夏空がまぶしく感じられる頃となりました。前号は、身近にあるペットボトルを使った嚥下訓練をご紹介させていただきました。毎日行っていただいていますか？嚥下訓練は、毎日続けることが大切です。さて、今月号は、ペットボトルに一工夫加えて、嚥下と呼吸の能力を高める訓練法をお伝えさせていただきます。

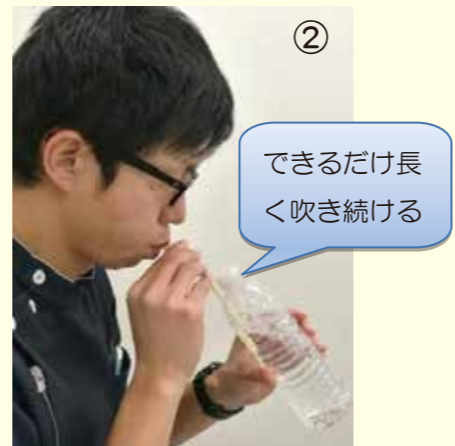
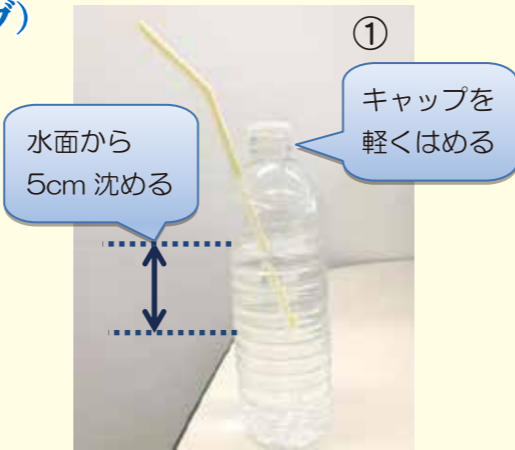
① 吹く力のリハビリ

肺の力が落ちた高齢者では、呼吸と嚥下のタイミングがずれてしまい、誤嚥（ごえん）することを、前回ご説明させていただきました。健康な私達も、日常生活でたまには誤嚥します。誤って食べ物を誤嚥したとしても、咳により誤嚥した食物を勢いよく吐き出すことができれば、誤嚥性肺炎にはなりません。強い咳を出すためには、強い息を吹ける力が必要です。言語聴覚士は、強く息を吹く練習として、ハードブローイング訓練を行います。この訓練は呼吸の力だけでなく、口唇や頬を閉じる力、喉の力を高めることができます。



② ペットボトルブローイング（ハードブローイング）

1. ペットボトル（500mlのもの）、ストローを準備します。ペットボトルはキャップも捨てずに持ってきてください。
 2. ペットボトルに小さな穴を開けるキリもしくは、カッターを準備してください。ペットボトルの、上部をストローが通る程度の大きさの穴を開けます。
 3. 2で開けた穴に、ストローを通します。ストローの先端は、水面から5cm程沈めてください。※ペットボトルのキャップをはめます。（写真①）
 4. ストローをくわえて、大きく息を吸ってからできるだけ長く、ブクブクと息を吹き込みます。（写真②）
 5. 4を5回ずつ繰り返します。
- ※ペットボトルのキャップの閉め方を調節することで、泡を出す呼吸の力を調整できます。キャップを軽く閉めると吹きやすくなります。強く閉めると、吹く力が必要になります。



※現在治療中の方は、必ず医師の指示のもとで行うようにしてください。過呼吸には注意してください。また、血圧の高い方は無理のない範囲で行ってください。

ようこそ、栄養科へ
旬の野菜を食べよう!



5個
35kcal
食塩0g

プチトマトのはちみつレモン漬け

材料

- プチトマト …… 1パック
- レモンの搾り汁 …… レモン1/2分
- はちみつ …… 小さじ2

作り方

- ①プチトマトのヘタと反対側に爪楊枝で穴をあける。
- ②沸騰したお湯の中にトマトを入れる。すぐに皮がシワになるので、冷水にとる。
- ③皮をむいて、タッパに入れ、レモン汁、はちみつをかけて半日以上、冷蔵庫で冷やす。
- ④食べる前にオリーブオイルを少量かけてできあがり。

オリーブオイルと一緒に
食べることで
β-カロテンの
吸収率を高めます。

トマトがみずみずしく、レモンの酸味が暑い時期に嬉しい一品です。作り置きしておくと冷菜の彩りに使えて便利です。



トマトのリコピン、β-カロテン、ビタミンC・Eは活性酸素を取り除き老化防止や生活習慣病予防、がんの予防まで様々な働きが期待されています。コラーゲンの合成を促し皮膚や粘膜を整える・メラニン色素の合成を抑える美白効果があることも報告されているので夏に食べておきたい食品ですね。

私たちが患者さんやその家族に、できるだけ安心してもらえるようなかわりや、少しでも喜んでもらえるようなことをしたいと常日頃思っています。ところが「言うは易く行は難し」であり、これがそう簡単ではありません。例えば、「あまりクヨクヨせず、もっと前向きにやってみよう」「そんなこと心配しなくてもいいですよ」「といった声かけは、患者さんに「私の不安な気持ちをわかってもらえない」という思いを抱かせることになりかねません。ある調査では、よかれと思って行った援助や声かけの8割は、実は相手にとっては有害に作用していたという結果も出ています。このように、かえって患者さんにマイナスになるような声かけや援助のことを「有害援助」といい、私たち医療者も知らず知らずのうちにしている可能性が十分にあるにもかわらず、その事実にはほとんど気がついていないというのが現状です。

またその一方で「治療的自己」という言葉があります。これは医療スタッフ自身の存在そのものが、患者さんの症状を軽減する力があるという意味の言葉です。緩和ケアの現場で考えると、その人がいるだけで、すごく安心感があり、とても癒されると患者さんが感じるならば、そのスタッフは治療的自己を持っていると言えます。

私たちは日々忙しい状況の中で仕事をしていますが、自分を磨くことで治療的自己を身につけて、またトレーニングをすることで、できる限り「有害援助」をしないような医療者になりたいものです。

有害援助と治療的自己



緩和ケア科 部長
黒丸 尊治

レクリエーション & 家族会

緩和ケア病棟にあるサニールームを色とりどりのあじさいの花で飾り、初夏の訪れを感じられる紫陽花祭りを開催



手作りスイーツ♡



スタッフが持ち寄ったあじさいの花を愛でながら、塗り絵や手作りのスイーツに舌鼓をし、家族やスタッフと穏やかな時間を過ごしました。

満開の鮮やかな紫陽花の花との記念撮影では、自然と笑みがこぼれ、みなさんいい表情でした。美しい花は人の心を優しく癒してくれますね。



10月から選定療養費が改定されます

初診時に、かかりつけ医などからの紹介状をお持ちでない方は、診察料とは別に「選定療養費」をご負担いただいています。このたび、診療報酬の改定により、現在、初診の場合のみ2,160円のご負担が、10月1日から次のように変わります。

【初診時】

内科 5,400円 歯科 3,240円

【再診時】

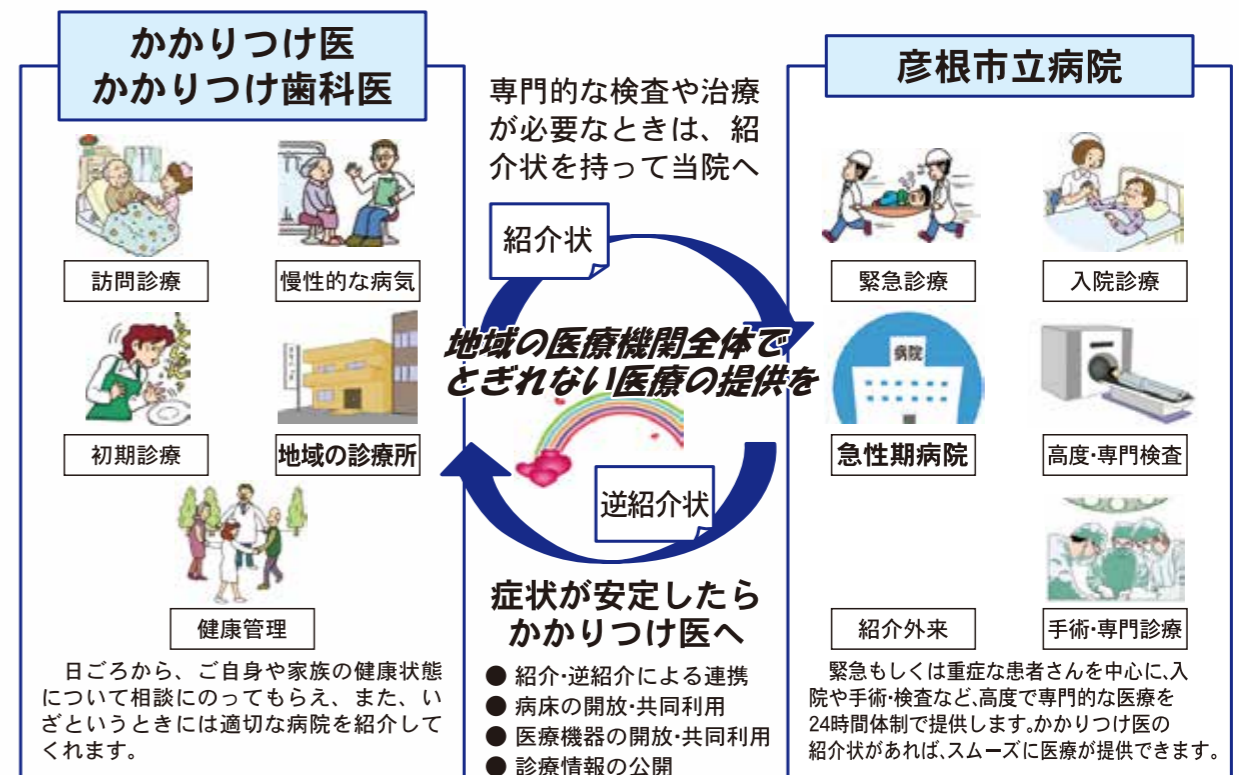
当院から他の医療機関をご紹介したものを再度受診されたとき

内科 2,700円 歯科 1,620円

地域の医療機関、そこに働く医師や看護師などの医療従事者には限りがあり、それぞれの医療機関には独自の役割があります。診療所は外来診療を、病院は外来診療のほか入院診療を行います。また、病院は、高度急性期、急性期、回復期、療養期のいずれかの機能を持っています。当院は、急性期の病院として、救急医療や高度医療、専門医療を担っています。

限りある医療資源を効率的に活用するため、急性期の医療を必要としない軽症等の患者さんは、まず地域の診療所等を受診いただき、高度・専門医療の必要な場合には、当院など急性期病院等に紹介をしていただく。そして当院での急性期医療が終わったら、元の診療所等に逆紹介をする。このような流れを円滑にし、地域全体で皆さんの健康を支えるため、選定療養費制度はありますので、皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

かかりつけ医をもち紹介状をもって、当院をご受診ください。



~ご意見箱より~



- Q.** テレビの音をイヤホンでしか聞くことができないのは不便です。
- A.** 大変ご不便をおかけし申し訳ございません。現在、テレビの音は、イヤホンをしないと聞こえない設定になっております。病院内では、静かな環境で療養生活を送っていただくため、ご協力をお願いします。
- Q.** デイホールをよく利用します。広くて眺めもいいのですが、何かBGMが流れているといいなあとと思います。(クラシックでも)
- A.** 貴重なご意見をありがとうございます。デイホールは同時に複数の家族の方が利用されますので、静かな空間を好まれる方もおられることから、現在、音響設備の設置の予定はありません。ご理解いただきますようお願いします。
- Q.** 用件があるので、予約を9時に取っても、診察が9時30分過ぎになる。何のための予約か？患者のことも少し考えて下さい。
- A.** このたびは、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。医師は、毎回9時前には診察室に入室しております。診察当日に採血し、その後に診察を受ける方は、糖尿病の検査で約40分、甲状腺なら70分程かかります。9時に診察予約でも、朝8時30分に受付し、すぐに採血をされても結果が出て診察開始は、9時20分位になるのが現状です。採血の結果が出たらすぐに診察にお呼びする努力はしておりますが、9時診察希望の場合、診察前日～数日前に採血し、診察当日、早く来院され、A1を取れば可能です。今後は、患者さんに検査による待ち時間の周知と予約時間の見直しの説明を十分に行っていきたいと考えております。ご理解いただけますようお願いします。



手術のため入院させていただき、毎日美味しい食事を作ってくださいありがとうございました。入院している者にとって何が楽しみかと言えば「食事」です。心のこもったお食事、美味しく頂戴いたしました。病院のメニューを参考に、これから少しでも変化のある食事を作れるように頑張りたいと思っております。スタッフの皆さん一人一人にお礼を申し上げたいところですが、これからも皆さんに喜んでいただけるお食事を作ってくださいますようお願いいたしますとにも感謝の気持ちをお伝えできればと思いお手紙させていただきました。

患者さんご遺族から寄付金をいただき、循環器内科医療設備等を購入しました。

6A病棟で長らく入院され、お亡くなりになられた患者さんご遺族から寄附金をいただき、血管撮影等の医療の充実および患者さんに寄り添った看護環境の整備のために活用させていただきました。下記の循環器内科の医療機器等を購入しましたのでご報告いたします。ありがとうございました。

(購入させていただいたもの)

- ・ポケット型超音波画像診断装置 1台
- ・放射線防護エプロン(医療スタッフ用) 5着
- ・子ども用車椅子2台、介護用車椅子1台、標準車椅子2台、室内用四輪歩行器1台
- ・患者さん腕置き台(血管連続撮影用) 1台
- ・その他事務用機器



募集しています!

病院ボランティア

彦根市立病院では、地域のみなさまに安心とぬくもりのある病院づくりをめざして、院内職員だけではまかなえないところを、地域のボランティアの方々にお手伝いをいただいております。

外来ボランティア



院内案内や受診時の受付時のお手伝いをさせていただき、笑顔で対応されるボランティアさんで、来院される方々の安心につながっています。

学生ボランティア



滋賀県立大学の看護学生さんが、絵本の読み聞かせやハンドマッサージなどで、患者さんのところを癒してくれています。

あなたのそのやさしさをボランティアに!

彦根市立病院では、このほかにも認知症ケアでのレクリエーションのお手伝いや患者さんに使用しているクッションカバーなどの裁縫、ケアに使用するタオルの裁断などの作業ボランティア、入院中の患者さんのお話を傾聴いただける傾聴ボランティアにご協力いただける方を求めています。

特技の活かせること、ご興味のあること、短時間での活動、ぜひ、そのやさしさであたたかな病院づくりにお力添えください!

お問い合わせ先

彦根市立病院

看護部(ボランティア委員会)

電話: 0749-22-6050(代)